

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	津山市三世代研修宿泊施設
(2) 指定管理者	所在地 津山市加茂町中原５１６－１ 名 称 (株)津山市加茂町ふるさと振興公社 代表者 代表取締役 大 下 順 正
(3) 公の施設の所管部署	産業経済部定住推進室
(4) 指定期間	平成２１年４月１日～平成２６年３月３１日
(5) 評価対象期間	平成２５年４月１日～平成２６年３月３１日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	年間利用者数 １０，０６７人（前年度９，７９０人）
(2) 事業の内容	津山市三世代研修宿泊施設の管理・運営

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 ４５，９６１ 千円（前年度４５，０９８千円） 利用料金収入 ３６，０３８千円 指定管理料 ７，６１９千円 その他の収入 ２，３０４千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 ４６，５９６ 千円（前年度４６，４４１千円） 主な支出 原価償却費・施設使用料等 ３，２７２千円 人件費 ２０，５９９千円 光熱水費・通信費 ５，７９６千円 修繕・備品・消耗品費 １，８４２千円 負担金・公租公課 ３３８千円 売上原価 １１，５８２千円 支払手数料 １，２５３千円 広告宣伝費等 ８２千円 雑費その他 １，８３２千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査の概要	宿泊客に対して実施しているが、県外からの旅行者も多く、料理や接客等の評価は良好であり、「また宿泊したい」という意見が多かった。ただ、宿泊料は安い料理単価が高いとの指摘もあった。
(2) 指定管理者の自己評価	平成 25 年度の売り上げ自体は 38,341,671 円（昨年対比 103%）と、昨年より伸びている。25 年度に実施した大広間の改修等により、利用者の快適性、利便性が向上したことが要因と考える。ただし、大型冷蔵庫等経年劣化による取替えで減価償却費が高み、最終的には当期純利益として約 63 万円の損失を計上した。
(3) 市の評価	前年と比較して、利用者数、売上ともに増加していることは評価できる。25 年度に実施した施設改修に合わせて、PR に力を入れたことが主な要因と考える。 管理運営全般においても、適正に実施できていると評価する。